

取扱説明書

冷蔵庫

KS 4783 ED



お客様の安全を確保し機器の損傷を避けるため、設置前やご使用になる前に **必ず** 本取扱説明書をお読みください。

目次

安全上のご注意	5
環境保護のために	14
設置	15
設置場所	15
気候範囲	16
換気	16
複数の冷蔵機器を設置する	17
サイドバイサイド設置	17
ドアヒンジを交換する	17
付属のウォールスパーサーを装着する	17
同梱の防虫パネルの取り付け	18
冷蔵機器を設置する	19
冷蔵機器の位置を合わせる	19
連続するキッチンキャビネットに機器を設置する	20
機器寸法	21
電源接続	24
節電	25
機器ガイド	26
機器の概要	26
スタート画面付き操作パネル	28
設定モード 	28
設定モード  でご希望の機能を選択する	30
庫内の構成を調整する	31
ドア棚/ボトル棚を移動する	31
エッグトレイをはめる	31
ボトルホルダーを調節する/取り外す	31
調節可能な棚を移動する	31
分割棚を移動する	32
分割棚を移動する	32
ボトルラックを移動する	32
ベーキングトレイの格納スペース	33
活性炭フィルターを移動する	33
付属アクセサリー	34
別売アクセサリー	34
電源をオン/オフする	35
初めてお使いになる前に	35
冷蔵機器を接続する	35
冷蔵機器をオンにする	35

冷蔵機器をオフにする	35
長期間オフする	35
適切な温度	36
温度表示	37
温度を設定する	37
温度設定範囲	37
SupercoolとDynaCoolを使う	38
DynaCool  をオン/オフする	39
その他の設定を選択する	40
さまざまな設定の説明	40
パーティーモード 	40
ホリデーモード 	40
ロック機能  /  をオンにする	41
サバトモード 	42
サバトモード  に関する情報	42
ドアアラーム  が作動するまでの時間を変更する	43
Miele@home	43
アラーム音とブザーの音量を調整する  / 	45
ディスプレイの明るさ  を調整する	46
デモモードをオフする 	46
設定を初期設定にリセットする 	46
情報 	46
活性炭フィルター交換表示 	46
清掃モード 	47
ドアアラーム	48
冷蔵室に食品を保存する	49
各種保存ゾーン	49
冷蔵室内での保存に適さない食品	50
食品ご購入時の注意点	50
食品の正しい保存法	51
DailyFresh引き出しに食品を保存する	52
霜取り	54
清掃とお手入れ	55
洗剤	55
清掃のために冷蔵機器を準備する	56
機器庫内を清掃する	56

目次

アクセサリーを手洗いまたは食器洗い機で洗浄する	57
アクセサリーを取り外し、分解、清掃する	57
防虫パネルの取り外しと清掃	59
機器前面とサイドパネルを清掃する	61
ドアパッキンを清掃する	61
換気間隙を清掃する	61
清掃をした後は	62
こんなとき、どうしたらいい？	63
運転時の音	69
アフターサービス	70
故障の際の連絡先	70
著作権とライセンス	71

安全上のご注意

表 示	表 示 の 意 味
 警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁 止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。



強 制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注 意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制／指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意

本冷蔵機器は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用により、人的傷害や財産の物的損害につながるおそれがあります。

冷蔵機器を初めてご使用になる前に、本説明書をよくお読みください。本説明書には、設置、安全、使用、お手入れに関する重要な情報が記載されています。これにより、人体への危害および本冷蔵機器の損傷を防ぐことができます。

冷蔵機器の設置に関するすべての情報、および安全上のご注意と警告をよく読み、指示に従ってください。

ミーレは、これらの指示に従わないことにより生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

この取扱説明書は安全な場所に保管し、本製品を譲渡する場合には必ず本書を添付してください。

-  冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の接続コードを使用して冷蔵機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。



警告

正しい用途

-  本冷蔵機器は、ご家庭での使用、またはそれに類似する以下のような環境での使用を想定しています：

- 店舗、オフィス、およびそれらに類似する職場環境
- ホテル、モーテル、民宿、およびそれらに類似する居住環境でのゲストによる使用

本冷蔵機器は屋外での使用を想定していません。

-  本機器は、ご家庭における食品や飲み物の冷却と保存のみを目的としています。
-  その他の用途に使用することはできません。

-  本冷蔵機器は、医療機器指令の対象となる冷蔵医薬品、血漿、実験室用製剤、同様の物質や機器の保管および保冷には適しません。このような目的で冷蔵機器を誤って使用すると、貯蔵した物が劣化する可能性があります。冷蔵機器は、爆発の危険性がある場所での使用にも適しません。

ミーレは、機器の不適切または誤った使用によって生じた損害について責任を負いません。

-  身体的、知覚的、または精神的に介護を要する方、経験や知識が未熟な方が本機器を使用する場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようになしてください。



警告

お子様の安全

-  8歳未満のお子様は、常に監督される場合を除き、冷蔵機器に近づかせないでください。
-  8歳以上のお子様は、安全な操作方法について説明を受け、誤った操作による危険性を理解している場合に限り、監督者なしで本機器を使用することができません。
-  お子様が監督されない状態で本機器の清掃やお手入れを一切行わないようにしてください。
-  本機器の近くではお子様から目を離さないようにし、お子様が本機器で遊ばないようにしてください。
-  窒息のおそれがあります。お子様が遊んでいるときに、梱包材（プラスチックラッピングなど）がからまったり、頭にかぶったりすると、窒息するおそれがあります。梱包材をお子様に近づけないでください。



警告

技術的安全性

冷媒回路は漏れがないことを検査済みです。本冷蔵機器は、現行の安全基準と適切なEU指令に適合しています。



警告：火災の危険性/可燃性物質。この記号はコンプレッサーに記載されており、可燃性物質を示しています。このステッカーは剥がさないでください。

本冷蔵機器の冷媒（詳細は型式表示シールに記載）は、環境にやさしいですが可燃性です。

ただし、この冷媒を使用することで、機器の騒音レベルがわずかに上昇することがあります。コンプレッサーの動作音に加えて、冷却回路を流れる冷媒の音が聞こえる場合があります。これは防止できませんが、冷蔵機器の性能に影響を与えるものではありません。

冷蔵機器の輸送や設置の際には、冷却回路の部品が破損しないようにご注意ください。冷媒の飛沫で目を負傷したり、冷媒が漏れて発火する可能性があります。

破損した場合：

- 火や火花を発生させるものは避けてください。
- 冷蔵機器を電源から切り離してください。
- 冷蔵機器のある部屋を数分間換気してください。
- ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

安全上のご注意

 冷蔵機器内の冷媒の量が多いほど、広い部屋に設置する必要となります。冷媒が漏れた場合、狭い部屋では可燃性のガスと空気の混合物が蓄積する危険があります。冷媒8 gあたり少なくとも 1 m^3 の部屋のスペースが必要です。冷蔵機器内の冷媒量は機器内の型式表示シールに記載しています。

 昇圧トランスの型式表示シールに記載されている接続データ(ヒューズ定格、周波数、電圧)が、電源と一致していることを確認してください。このデータは、冷蔵機器の破損のリスクを回避するために、必ず一致させてください。本機器を電源に接続する前に、この点を確認してください。ご不明な点は、認定技術者にご相談ください。

 本機器の電気系統についての安全が保証されるためには、正しく接地(アース)されていなければなりません。この基本的な安全要件を満たすことは重要です。不明な場合は、資格を有する電気技師に電気配線の検査を依頼してください。

 冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の接続コードを使用して冷蔵機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

 昇圧トランスとともに購入した冷蔵機器のみ、組み合わせて使用することができます。昇圧トランスに他の機器を接続しないでください。

 電源コードは、この冷蔵機器にのみ使用することができます。電源コードは、他の機器とともに使用しないでください。

 付属の電源コードが破損した場合は、ユーザーへの危険回避のため、必ず純正スペアパーツと交換してください。ミーレは、当社の純正スペアパーツを使用した場合のみ、機器の安全性を保証することができます。

 本機器をたこ足配線や延長コードを使って主電源に接続しないでください。発火のおそれがあり、本機器に必要な安全性が保証できなくなります。

 電気部品、電源コード、昇圧トランスの電源コードに水分が入ると、ショートすることがあります。したがって、湿気の多い場所(ガレージやクーティリティールームなど)で冷蔵機器を使用しないでください。

 本機器は、安定していない場所(船上など)で使用しないでください。

 損傷した機器は使用しないでください。
 危険です。本機器に損傷がないかをチェックしてください。

本冷蔵機器は、ビルトイン機器として使用することを目的としていません。

 本機器の設置、メンテナンス、修理の作業中は、必ず電源から遮断している必要があります。

 不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じるおそれがあります。
 設置、メンテナンス、および修理はミーレ認定の技術者のみが行うことができます。

 保証期間中の修理は、ミーレ認定のサービス技術者のみが行う必要があります。それ以外の人物が行った場合、保証が無効になります。

❗ 問題のある部品を交換する場合は、必ずミーレ純正交換部品のみを使用してください。ミーレは、ミーレの交換部品が使用されている場合にのみ、本機器の安全基準を保証できます。

❗ 本冷蔵機器には、特定の条件（温度、湿度、耐薬品性、耐摩耗性、震動など）に耐えうる特殊なランプが備えられています。このランプは決められた用途にのみ使用してください。このランプは室内照明には適していません。交換用ランプの取り付けは、必ずミーレ認定の技術者またはサービス担当者によってのみ取り付けすることができます。

❗ ゴキブリなどの害虫が出現しやすい場所では、本機器とその周辺を常に清潔な状態に保つよう特に注意してください。ゴキブリなどの害虫を原因とする損傷は保証対象外です。



警告

正しい設置

❗ 機器に付属の取扱説明書に従って、（必要であれば）ドアヒンジを交換します。

型式に「S」が付いている冷蔵機器は、サイドバイサイドの組み合わせで設置することができます。

- 機器に付属の設置説明書に記載されているとおりに設置を行なってください。
- 冷蔵機器の配置はあらかじめ決められているので、ドアヒンジを変更しないでください。

❗ 冷蔵機器の運搬や設置の際は、必ず保護手袋を着用してください。

❗ 冷蔵機器は必ず2人で設置してください。

安全上のご注意



注意

正しい使用方法



本冷蔵機器は、一定の気候クラス（周囲温度）での使用を前提に設計されています。設計周囲温度の範囲外では使用しないでください。本機器の気候クラスは、機器内の型式表示シールに記載しています。周囲温度が低すぎると、コンプレッサーが長時間オフになります。つまり、冷蔵機器は必要な温度を維持できません。



通気口は覆ったり妨げたりしないでください。本機器の効率の悪化、電力消費量の増加、部品の損傷につながる可能性があります。



油脂を多く含む食品を庫内やドアに貯蔵する場合は、プラスチック部品に食品が接触しないように注意してください。応力亀裂やプラスチックの破損を引き起こす可能性があります。



火災や爆発のおそれがあります。冷蔵機器に、爆発物または高圧ガスを含む製品（スプレー缶など）を貯蔵しないでください。電気部品が可燃性のガス混合物を発火させる可能性があります。



爆発の危険があります。冷蔵機器内の中で電気機器（電気アイスクリームメーカーなど）を稼働させないでください。火花の発生や爆発の危険があります。



食中毒のリスクを避けるために、食品に記載されている製造元の「消費期限」と保存方法を遵守してください。保存期間は、食品の鮮度、品質、保存温度などの要因に左右されます。

ステンレス製の機器



粘着剤はステンレス製の表面を損傷し、汚れ防止の保護コーティングの効果が失われる原因となります。付箋、粘着テープ、マスキングテープ、その他の粘着剤はステンレス面に貼らないでください。

本製品の表面は傷つきやすい材質でできています。磁石でさえも傷の原因となるおそれがあります。



注意

アクセサリと交換部品



ミーレ純正アクセサリのみを使用してください。それ以外のアクセサリが使用された場合、保証、性能、製品製造者責任に関する請求は無効となります。

ミーレは、冷蔵機器の製造終了後も、最低10年および最長15年、スペアパーツの供給を継続します。



霜取りスプレーや解氷剤は使用しないでください。プラスチック部品を傷める成分を含んでいたり、ガスを生成して健康被害につながる可能性があります。



注意

お手入れ



ドアパッキンにオイルやグリスを使用しないでください。パッキンが劣化し、次第に気密性が低下します。



本機器の清掃や霜取りにスチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に到達してショートを引き起こすおそれがあります。



霜取りを早く行うために、メーカーが推奨していない機械的またはその他の補助器具を使用しないでください。



鋭利なものや先のとがったものは蒸発器を損傷し、本機器に重大な損傷を与えるおそれがあります。鋭利なものや先のとがったものを使って

- 霜や氷層を取ったり、
- 凍りついた食品や製氷皿をはがしたりしないでください。



霜取りのために庫内に電熱器やローソクを置かないでください。プラスチック部品を傷める可能性があります。

安全上のご注意



注意

輸送



輸送中の損傷を避けるため、本機器は常に直立した状態で、出荷時の輸送用梱包に入れて輸送してください。



けがや機器の損傷の危険があります。冷



蔵機器は非常に重いため、必ず 2 人で輸送してください。



注意

使用済み機器の廃棄処分

お子様が本機器で遊ぶと、機器内に閉じ込められて窒息する可能性があります。

- 機器のドアを取り外します。
- 引き出しを取り外します。
- 調整可能な棚を冷蔵機器に残したままにしてお子様が中によじ登れないようにしてください。
- 使用済み冷蔵機器にドアロックがある場合は、破壊します。幼児が誤って閉じ込められて生命の危険にさらされるのを防ぐためです。

感電の危険があります！

- 電源コードから電源プラグを切断します。
- 電源コードを使用済み機器から切断します。

すべて、使用済み機器とは別個に廃棄処分してください。

廃棄処分中および廃棄処分後は、冷蔵機器が石油その他可燃性ガスや液体の近辺に置かれていないことを確認してください。

流出したオイルや冷媒による発火の危険があります！

機器内部の冷媒とオイルは可燃性です。流出した冷媒やオイルが高濃度の場合、外部の熱源と接触すると発火のおそれがあります。

廃棄処分中、冷媒やオイルが制御の効かない状態で流出してしまうことを防ぐため、冷媒回路が損傷していないことを確認してください（冷媒の詳細は型式表示シール参照）。



冷媒の飛沫によって目を損傷する可能性があります。廃棄を待つ間、以下のようなことで配管が損傷しないように注意してください。

- コンデンサー内の冷媒回路に穴が開く
- 配管が曲げられる
- 表面の被膜がかき落される

コンプレッサーの記号（機種によって異なります）

この情報はリサイクルにのみ関連しています。通常の操作におけるリスクはありません。



コンプレッサー内のオイルは、飲み込んだり、気道に侵入したりすると致命的となるおそれがあります。

環境保護のために

梱包材の廃棄処分

梱包材は、輸送時に本機器を保護するようにデザインされています。梱包材は廃棄する際に環境にやさしい材質を使用しているため、リサイクルすることを推奨します。

梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料使用量や、ごみ廃棄場での廃棄物量を削減することができます。

使用済み機器の廃棄処分

電子機器・電気製品には、貴重な素材が含まれている場合があります。また、機器が正しく安全に機能するために不可欠な特定の物質、化合物、部品も含まれています。これらは一般ごみとして廃棄したり不適切な取扱いをしたりすると、健康や環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。したがって、不要になった機器を一般ごみと一緒に廃棄しないでください。



各自治体・販売店・ミーレが指定する電子機器・電気製品の正しい廃棄およびリサイクル方法を利用してください。廃棄前に機器から個人情報情報を削除する責任はお客様にあります。

認可された収集場所への輸送前および輸送中に、冷蔵機器の配管を破損しないように注意してください。

これは、冷却回路内の冷媒とコンプレッサー内のオイルが環境に排出されないようにするためです。

不要になった機器を処分するまでの保管中、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。詳細については、機器の取扱説明書の「安全上のご注意」を参照してください。

設置場所

⚠ 高湿度による破損のリスク。

湿度が高い環境では、外付けの冷蔵機器パネルに結露が発生することがあります。この結露は、外付け機器のパネルの錆の原因になることがあります。

冷蔵機器は十分に換気のできる乾燥した室内や空調の効いた室内に設置してください。

設置後、機器のドアが正しく閉まり、規定の換気口が確保されていることを確認してください。

⚠ 火災または熱を発する機器による破損のリスク。

熱を発する機器は発火し、冷蔵機器に引火する可能性があります。

ミニオーブン、コンロ、トースターなど、熱を発する機器を冷蔵機器の上に置かないでください。

⚠ 直火による火災や損傷のおそれがあります。

直火は冷蔵機器に引火する可能性があります。

直火（ろうそくなど）を冷蔵機器に近づけないでください。

機器は、乾燥した風通しの良い部屋に設置してください。

設置場所を決める際には、暖房器具や調理器具など熱を発する機器の近くに設置すると、冷蔵機器のエネルギー消費が多くなることにご注意ください。直射日光を避けてください。

周囲温度が高いほど、コンプレッサの稼働時間が長くなり、エネルギー消費が多くなります。

冷蔵機器を設置する際は、以下の点に注意してください。

- コンセントと昇圧トランスは、緊急時に簡単にアクセスできるように、機器の後ろに隠れないようにしてください。
- プラグと電源コードは、冷凍機器の振動で破損する可能性があるため、冷蔵機器の背面に触れないようにしてください。
- この機器の後ろのコンセントに他の機器を接続しないでください。
- 冷蔵機器を設置するときは、昇圧トランスの電源コードが引っかかったり、破損したりしないようにしてください。
- たこ足配線、延長コード、その他の電子機器(ハロゲントランスなど)を機器の背面に配置したり使用したりしないでください。
- 設置場所の床は水平で、周囲の床と同じ高さにしてください。

設置

気候範囲

冷蔵機器は、一定の周囲温度(気候範囲)での使用を前提に設計されています。周囲温度の設計範囲外では使用しないでください。冷蔵機器の気候範囲は、機器内の型式表示シールに記載しています。

気候範囲	周囲温度
SN	10-32℃まで
N	16-32℃まで
ST	16-38℃まで
T	16-43℃まで
SN-ST	10-38℃まで
SN-T	10-43℃まで

周囲温度が低いと、コンプレッサーのスイッチが長時間オフになります。これにより、冷蔵機器の内部温度が上昇して食品の品質が悪化したり、腐敗をまねくおそれがあります。

換気

 換気不十分による火災や損傷のおそれがあります。

冷蔵機器の換気が不十分な場合、コンプレッサーがより頻繁に、より長い時間稼働します。そのため、消費電力が増えてコンプレッサーの運転温度が上がります。これによってコンプレッサーが損傷するおそれがあります。

冷蔵機器の周囲は十分に換気されるようにしてください。

必要な換気間隙を必ず確保してください。

換気間隙が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。

また、定期的にほこりを清掃してください。

冷蔵機器の背面の空気は暖くなります。そのため、適切な換気のための十分なスペースを確保する必要があります(「設置寸法」参照)。

複数の冷蔵機器を設置する

⚠ 外付けの機器パネルの結露による破損のリスク。

湿度が高い環境では、外付けの冷蔵機器パネルの間に結露が発生し、錆の原因になることがあります。

異なる冷蔵機器同士を**直接**隣り合わせに**しない**ください。

2つの冷蔵機器の間は、70 mm以上の距離を保つ必要があります。

サイドバイサイド設置

冷凍庫は、左側のサイドパネルにヒーターが内蔵されているため、他の冷凍庫の右側に設置することができます（「機器の寸法」参照）。

また、冷凍庫は右側のサイドパネルにヒーターが内蔵されていることが必要です。

機器のモデルに適したサイドバイサイド設置キットは、冷凍庫に付属しています。付属の設置説明書には、冷蔵機器を隣り合わせに設置する方法が記載されています。

ヒント: お使いの機器とどの冷蔵機器を組み合わせることができるかについての具体的な情報については、販売店にお問い合わせください。

ドアヒンジを交換する

⚠ ドアが重いため、けがや機器の損傷の危険があります。

ドアヒンジを一人で設置するとけがや破損のリスクが高まります。

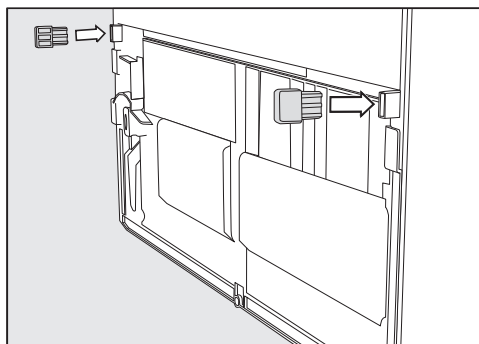
ドアヒンジの交換は必ず2人で行ってください。

本冷蔵機器は、右ヒンジで出荷されています。左ヒンジが必要な場合は、ヒンジの交換が必要です（付属の設置説明書参照）。

付属のウォールスペーサーを装着する

表示されているエネルギー消費量を達成し、高い周囲温度での結露発生を防ぐために、付属のウォールスペーサーを使う必要があります。ウォールスペーサーを装着した機器の場合、冷蔵機器の奥行きが約15 mm長くなります。

ウォールスペーサーを使用しない場合、冷蔵機器の機能には影響しません。機器と壁の間の距離が短くなり、エネルギー消費が若干増加します。



- ウォールスペーサーを冷蔵機器背面の左下と右下に取り付けます。

設置

同梱の防虫パネルの取り付け

防虫パネルで小さい虫が冷蔵機器に入るのを防止でき、機器が正常に作動し続けるようになります。

⚠ 防虫パネルの取り付け時に怪我や損傷のリスクがあります。

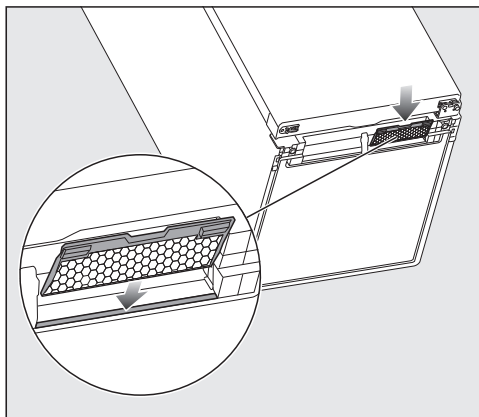
冷蔵機器は傾くと転倒する可能性があります。このため怪我や破損のリスクが高まります。

冷蔵機器は必ず 2 人で傾けて持ってください。

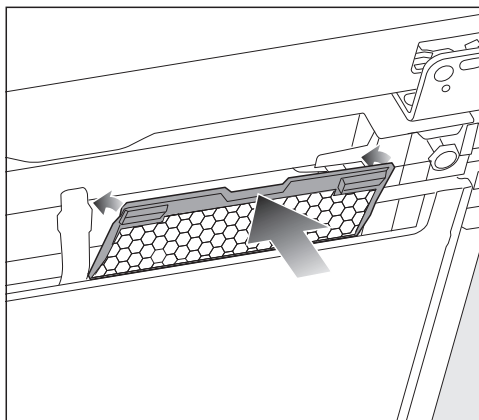
防虫パネルの取り付け前に以下の点にご注意ください：

- 冷蔵機器がオフになっていること。
- 冷蔵機器が空であること。
- 冷蔵機器は必ず 2 人で傾けて持つこと。

- 他の人と協力して冷蔵機器を少し後ろへ傾けます。



- 防虫パネルの後縁をくぼみの後側の溝に入れます。



- 次にパネルの前縁をカチッと音がして所定の位置に収まるまで返します。
- 二枚目の防虫パネルも同じようにして取り付けてください。
- 冷蔵機器が完全に垂直に立つように位置を正してください。

冷蔵機器を設置する

⚠ 冷蔵機器の転倒による破損やけがのリスクがあります。

冷蔵機器を一人で設置すると、けがや破損のリスクが高まります。

冷蔵機器は必ず2人で設置してください。

⚠ 衝撃によって機器のドアが破損するリスクがあります。

機器のドアが部屋の壁にぶつかり、ドアが破損する可能性があります。

冷蔵機器を設置する前に、付属のドア開閉角度リミッターを装着してください。

部屋の壁にフェルトのストッパーを取り付けるなどして、機器のドアを保護してください。

⚠ 床が損傷するおそれがあります。

冷蔵機器を移動させる際に、床を損傷するおそれがあります。

傷が付きやすい床では慎重に冷蔵機器を移動させてください。

設置の際に便利な、移動用ハンドルが背面上部に、移動用ホイールが機器底部に備えられています。

ヒント: 冷蔵機器は必ず空の状態を設置してください。

- 設置する冷蔵機器を、設置場所のなるべく近くに置きます。
- 「電源接続」の説明に従って、冷蔵機器を電源に接続します。
- 冷蔵機器を、所定の設置場所に慎重に移動させます。
- ウォールスペーサー(使用されている場合)または背面を壁に近づけて、冷蔵機器を配置します。

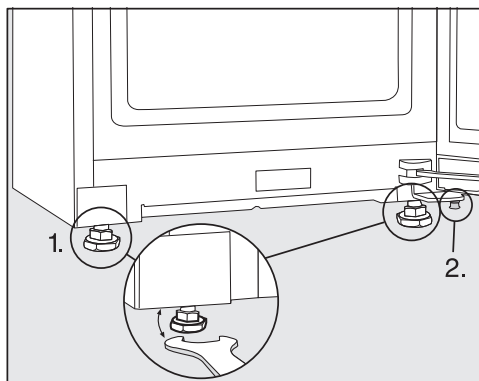
冷蔵機器の位置を合わせる

⚠ 機器のドアの落下や冷蔵機器の転倒による破損やけがのリスク。

下部のヒンジプレートにある追加の調整脚が床にしっかり固定されていないと、機器のドアが落ちたり、冷蔵機器が転倒する可能性があります。

付属のオープンスパナを使い、調整脚が床につくまでネジを緩めます。

次に、調整脚をさらに1/4回転させ、緩めます。



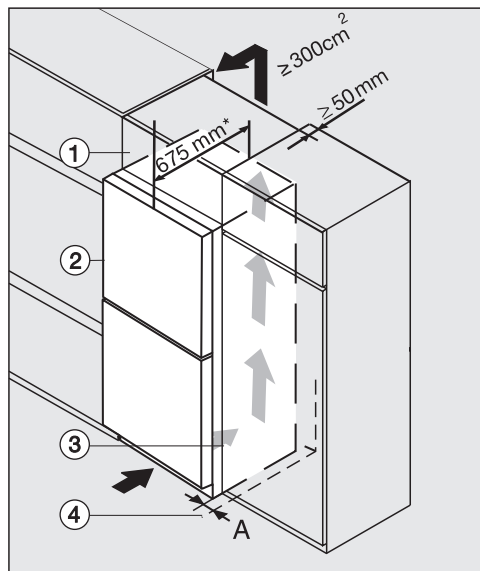
- 水準器と付属のオープンスパナを使用して、冷蔵機器の位置を合わせ、機器のドアを支えてください。

1. 前面の調節脚を調整します。
2. 追加の調整脚を、床に触れるまでネジを緩めて出します。次に、調整脚をさらに1/4回転させ、緩めます。

設置

連続するキッチンキャビネットに機器を設置する

冷蔵機器をキッチンキャビネットで囲むことも可能です。



K(S)/FN(S)/KFN 4xxx Xedst/cs、ws、bst、el

① トップボックス

② 冷蔵機器、ドア奥行き=75 mm

③ キッチン収納キャビネット

④ 壁

A=25 mm(埋め込み型グリップ付き)/
60 mm(ハンドル付き)

*ウォールスパーサーを装着した冷蔵機器では、機器の奥行きが約15 mm長くなります。

⚠ 換気不十分による火災や損傷のおそれがあります。

冷蔵機器の換気が不十分な場合、コンプレッサーがより頻繁に、より長い時間稼働します。そのため、消費電力が増えてコンプレッサーの運転温度が上がります。これによってコンプレッサーが損傷するおそれがあります。

冷蔵機器の周囲は十分に換気されるようにしてください。

必要な換気間隙を必ず確保してください。
換気間隙が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。

また、定期的にほこりを清掃してください。

換気隙間が広いほど、コンプレッサーが経済的に稼働します。

■ 冷蔵機器を収納キャビネットの横に設置します。

- 機器の前面は、収納キャビネットの前面よりもドアの奥行き分以上前に出ている必要があります。これにより、干渉することなく機器のドアが開閉できます。
- 壁④の隣りに設置する場合は、ヒンジ側で壁④と冷蔵機器②との間に距離(A)を確保する必要があります。
- 他のキッチンキャビネットと高さを合わせるために、冷蔵機器に適切なトップボックス①を取り付けることができます。

トップボックスの全幅に、奥行き50 mm以上の排気ダクトを設ける必要があります。

暖かい空気が遮られることなく逃げられるよう、天井の下の換気間隙は 300 cm^2 以上を確保してください。

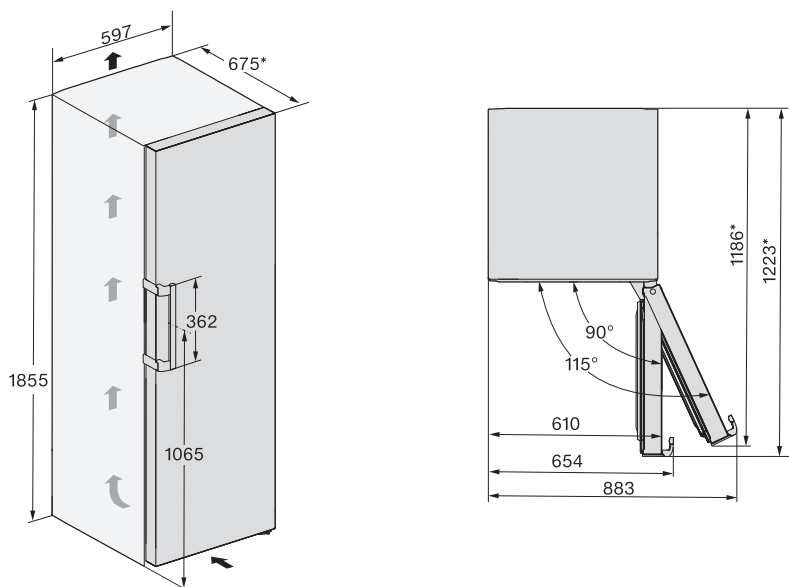
機器寸法

設置寸法/上から見た図

KS 4783 ... edt/cs, KS 4783 ... bst

寸法はすべてmmで表記しています。

冷蔵機器は、指定された換気断面積が確保されていれば、正しく機能します。



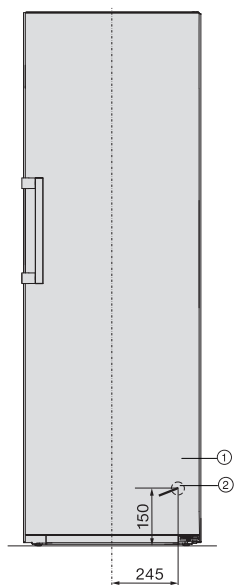
*ウォールスペーサーを装着していない場合の寸法です。付属のウォールスペーサーを装着すると、機器の奥行きが15 mm長くなります。

設置

接続

KS 4783 ... edt/cs, KS 4783 ... bst

寸法はすべてmmで表記しています。



① 正面図

② 電源コード

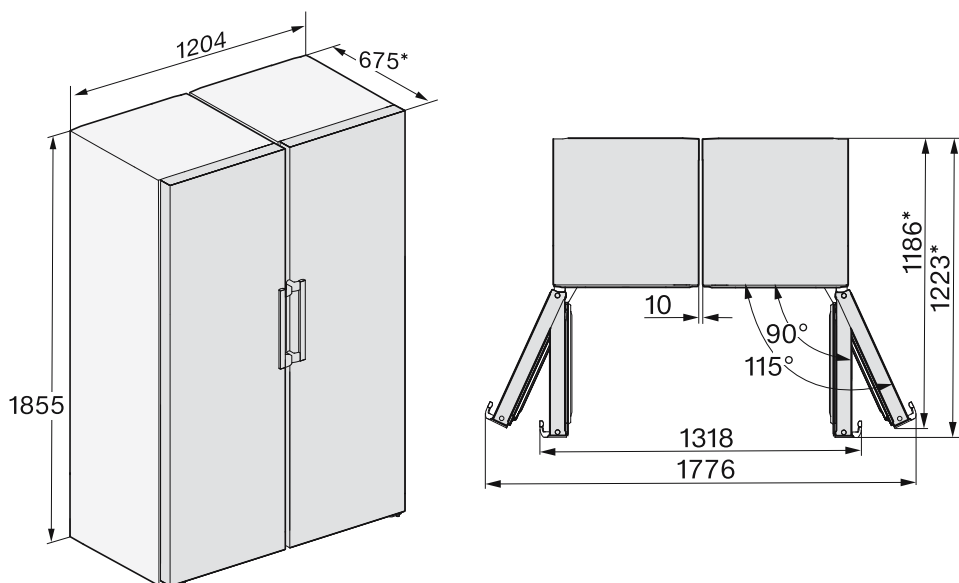
設置寸法/上から見た図

FNS 4782 ... edt/cs + KS 4783 ... edt/cs, FNS 4782 ... bst + KS 4783 ... bst

詳しくは、「設置方法：サイドバイサイド設置」の項およびサイドバイサイド設置キットに付属の設置説明書を参照ください。

寸法はすべてmmで表記しています。

冷蔵機器は、指定された換気断面積が確保されていれば、正しく機能します。



*ウォールスペーサーを装着していない場合の寸法です。付属のウォールスペーサーを装着すると、機器の奥行きが15 mm長くなります。

設置

電源接続

冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の電源コードを使用して機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

コンセントと昇圧トランスは、冷蔵機器を設置した後、簡単にアクセスできるようにしてください。コンセントと昇圧トランスに簡単にアクセスできない場合、各電極の設置側に適切な切断手段を用意してください。

⚠ オーバーヒートによる火災のおそれがあります。

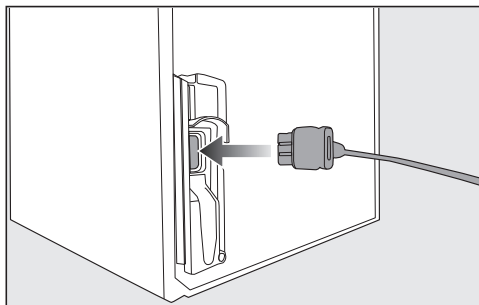
たこ足配線や延長コードに冷蔵機器を接続すると、コードに負荷がかかり過ぎる場合があります。

安全上の理由から、延長コードやたこ足配線を使用しないでください。

電源コードが破損した場合は、必ず同種の専用電源コードと交換してください(ミーレ・カスタマーサービスからご購入いただけます)。安全上の理由から、このような交換は資格を有する専門家またはミーレ・カスタマーサービスのみが行えます。

昇圧トランスの型式表示シールには、公称消費電力と適切なヒューズ定格が記載されています。この情報を設置場所の電気接続のデータと比較してください。ご不明な点は、認定技術者にご相談ください。

冷蔵機器を接続する



- プラグコネクターを冷蔵機器背面のコンセントに挿し込みます。

プラグコネクターが正しくカチッとハマっていることを確認します。

- 冷蔵機器の電源プラグを昇圧トランス挿し込みます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

これで冷蔵機器が電源に接続されました。

エネルギーを節約する方法：

設置場所

冷蔵機器は、高い周囲温度ではより頻繁に冷却する必要があり、その過程でより多くのエネルギーを消費します。このため、次の点に注意してください：

- 換気の良い部屋に冷蔵機器を設置します。
- 本冷蔵機器を熱源（暖房機器や調理器具）の近くに設置しないでください。
- 直射日光が冷蔵機器に当たらないようにしてください。
- 理想的な周囲温度（20 ° C）を保ちます。
- ほこりを取り除くために、定期的に換気間隙を清掃します。

温度設定

温度が低いほど、消費電力量が多くなります。次の設定をお勧めします：

- 冷蔵室 4-5 ° C。

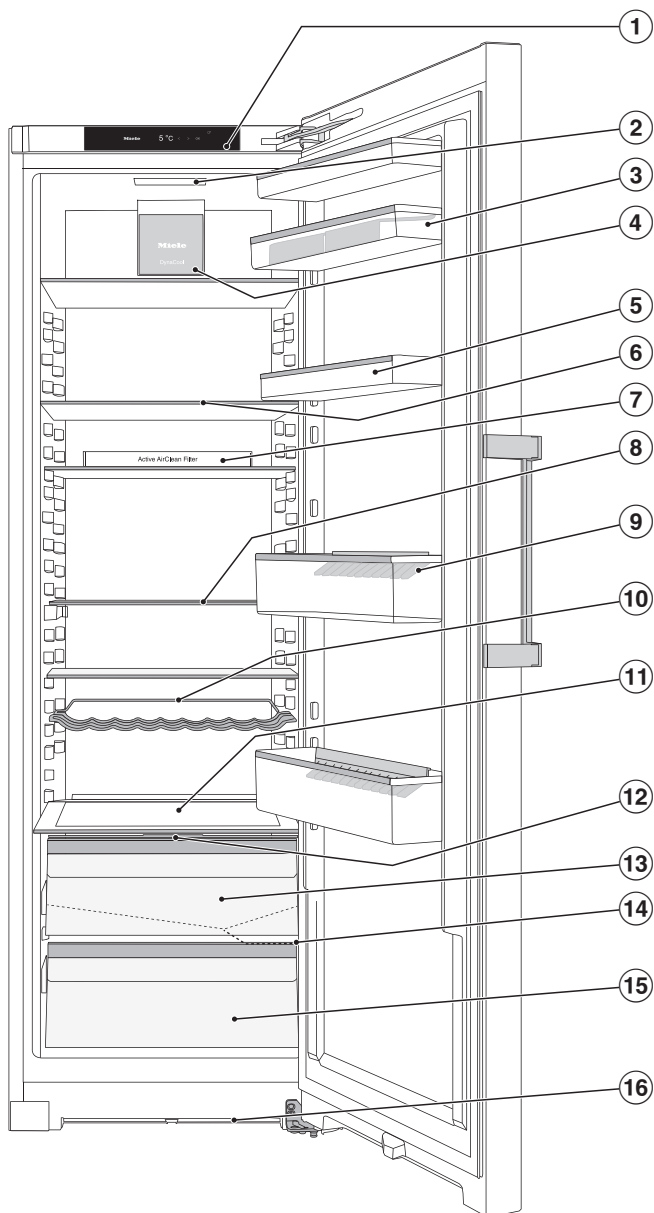
使用時

エネルギー消費は、入熱と空気循環の妨げによって増加します。このため、次の点に注意してください：

- 機器のドアは必要なときにだけ開け、できるだけ短時間にしてください。食品は、機器内で見つけやすいように配置します。
- 機器のドアを開けた後は、必ず正しく閉じてください。
- 熱い食品や飲み物は、冷蔵機器に入れる前に冷ましてください。
- 食品はしっかりパックまたはラップをして保存します。
- 空気を循環できるように、庫内に食品を詰め過ぎないでください。
- 冷凍された食品を解凍する際に冷蔵ゾーンに入れます。
- 引き出しと棚は、出荷時と同じ配置のまま使用します。
- ウォールスパーサーを使用します。冷蔵機器背面のウォールスパーサーは、表されたエネルギー消費を確実に達成するために設計されています。

機器ガイド

機器の概要

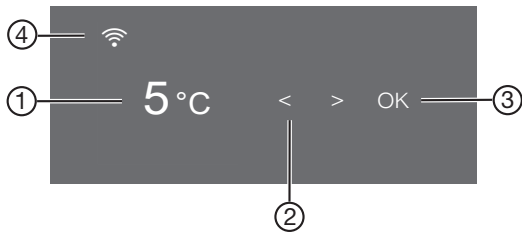


この図面はイメージです。

- ① ディスプレイ
- ② 庫内照明
- ③ エッグトレイ付きのドア棚
- ④ ファン
- ⑤ ドア棚
- ⑥ 調節可能な棚
- ⑦ 分割棚 (FlexiBoard)
- ⑧ ボトル棚、ボトルホルダー付き
- ⑨ 調整可能なボトルラック
- ⑩ 베이킹トレイ用スペース(XL庫内モデルの場合)
- ⑪ DailyFresh引き出しの湿度レベルを設定するためのコンテナカバー
- ⑫ 野菜用DailyFresh引き出し (湿度調整機能付き)
- ⑬ 溝と排水口
- ⑭ 果物用DailyFresh引き出し
- ⑮ 換気間隙

機器ガイド

スタート画面付き操作パネル



- ① 冷蔵ゾーンの温度表示
- ② センサーコントロール、設定選択用
- ③ 選択を確定し、
設定モードに入るため の OK センサーコントロール
- ④ Miele@home接続状態の表示
(モデルによって異なります)
(Miele@home機能が設定されている場合にのみ表示されます)

設定モード

設定モードでは、以下の機器機能を選択し、一定範囲内で設定変更ができます：

記号	機能	工場出荷時 設定
	パーティーモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ
	ホリデーモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ
	ロック機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」を参照)	(オフ)
	冷蔵機器をオフにする	—
	サバトモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ

	サバトモード機能に関する情報を呼び出す （「その他の設定を選択する」参照）	—
	ドアアラームが作動するまでの時間を変更する （「その他の設定を選択する」参照）	1:00
@ （モデルによって異なります）	Miele@home機能の初回設定、WiFiの有効化および無効化、またはネットワーク設定のリセット （「その他の設定を選択する」参照）	アプリ
 / 	キーパッド音をオン/オフする	オン
 / 	アラームとブザーの音量を変更するか、すべてオフする （「その他の設定を選択する」参照）	オン /レベル 5
	ディスプレイの明るさを変更する （「その他の設定を選択する」参照）	レベル 4
°C/°F	温度単位を変更する （摂氏または華氏）	°C
	デモモード機能をオン/オフする （オンにした時のみ表示） （「その他の設定を選択する」参照）	オフ
	初期設定にリセットする （「その他の設定を選択する」参照）	—
	冷蔵機器に関する情報（型式とシリアルナンバー）を呼び出す （「その他の設定を選択する」参照）	—
	活性炭フィルター交換のリマインダーをオンにする（「別売アクセサリ」参照） （「その他の設定を選択する」参照）	オフ
	清掃モードをオン/オフする （「清掃とお手入れ」参照）	オフ

機器ガイド

設定モード☼でご希望の機能を選択する

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。
☼がディスプレイに表示されます。
- <または>センサーコントロールを使って、☼記号までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <または>センサーコントロールを使って、ご希望の機能を選択します。
- OKをタッチして、ご希望の機能を選択します。

機能が**オン**になると、ディスプレイ●の上部に点が表示されます。

- OKをタッチして、機能の選択を解除します。

機能が**オフ**になると、ディスプレイの上部の点が表示されなくなります。

設定モード☼を終了する

- <または>センサーコントロールを使って、↩記号までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <または>センサーコントロールを使って、↩記号までスクロールし、OKをタッチします。
- または、
最後にボタンを押してから約15秒待ちます。その後、
設定モードは自動的に終了します。

庫内の構成を調整する

ドア棚/ボトル棚を移動する

機器ドアのドア棚/ボトル棚の移動は、棚が空の状態で行ってください。

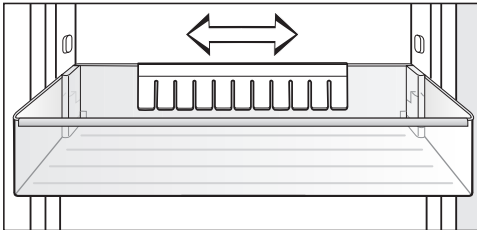
- ドア棚/ボトル棚を上を押してから、手前に引いて取り外します。
- ご希望の高さにドア棚/ボトル棚を取り付けます。

エッグトレイをはめる

- エッグトレイをドア棚の後端にはめます。

ボトルホルダーを調節する/取り外す

ボトルホルダーの滑り止めフィンは、機器のドアを開閉する際にボトルがよりしっかり保持されるようにします。



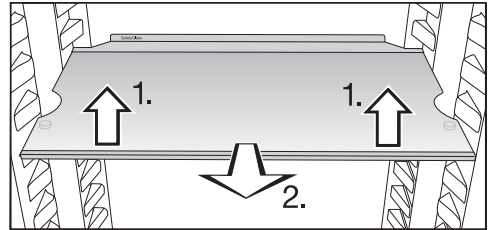
飲料パックのためのスペースを広げるために、ボトルホルダーを左右に動かすことができます。

ボトルホルダーは完全に取り外すことができます（清掃時など）：

- ボトルホルダーを引き上げて取り外します。

調節可能な棚を移動する

調整可能な棚は、食品の高さに応じて調節できます。



- 棚の手前側を少し持ち上げてから、手前に少し引き出します。
- 側面の切り欠きが棚受けと一直線になるまで持ち上げます。これにより、ご希望の位置まで棚を上下することができます。
- 棚を押し込みます。

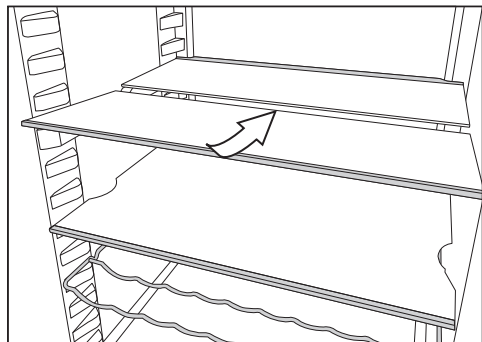
ストッパーが、棚が誤って外れるのを防ぎます。

食品が機器の背面に触れて凍結するのを防ぐために、背面の保護ストリップの隆起したエッジを上に向ける必要があります。

機器ガイド

分割棚を移動する

ボトルや大きな容器など背の高いものを収納する場合は、分割棚の前段を後段の下にスライドさせて収納します。

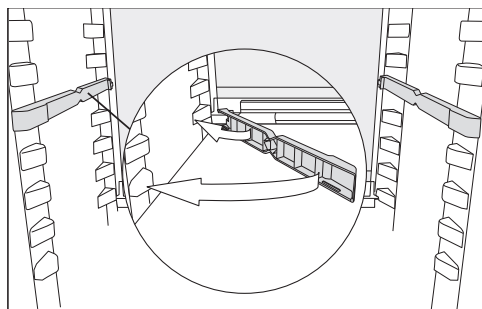


- ガラス棚の前面部を少し持ち上げて、後面部の下に注意深く滑り込ませます。

分割棚を移動する

分割棚は、機器内部の別の場所に移動させることができます。

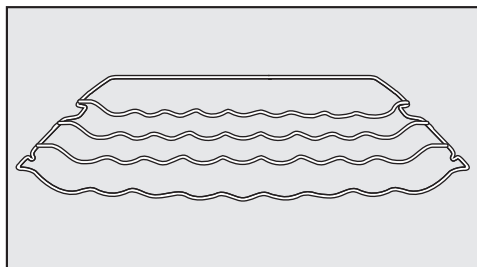
- ガラス棚の両段を機器から取り出します。



- アダプター2個を左右のサポートリブにお好みの高さで取り付けます。

ガラス棚の縁が盛り上がっている部分は、必ず背面に装着してください。

ボトルラックを移動する



ボトルラックは、機器内のさまざまな位置に配置できます。

- ボトルラックの手前側を少し持ち上げ、側面の切り欠きが棚サポートと揃うまで少し前に引きます。これで、ご希望の位置まで上げたり下げたりすることができます。

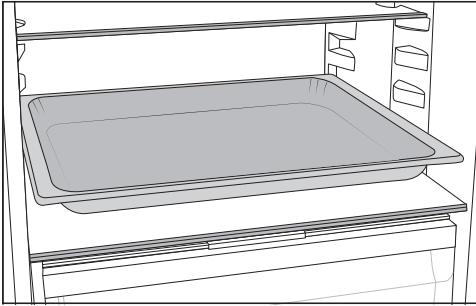
ボトルが機器の背面に触れないようにするため、奥のレールは必ず上に向けてください。

ストッパーが、ボトルラックが誤って外れるのを防ぎます。

ベーキングトレイの格納スペース

引き出し上にベーキングトレイを置くことができます。ベーキングトレイは幅466 mm、奥行き386 mm、高さ50 mm を超えてはなりません。

- 機器のドアをいっぱいに開きます。



- ベーキングトレイを仕切りに置きます。

ヒント: ベーキングトレイは、室温まで冷ましてから冷蔵室に入れます。

活性炭フィルターを移動する

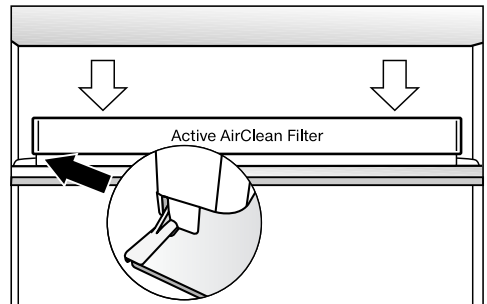
KKF-FS Active AirClean フィルターホルダー付きは別売りアクセサリーとしてご用意しています（「別売りアクセサリー」参照）。

非常に匂いの強い食品（例：熟成したチーズ）を保存する場合。

- この食品が保存されている棚に活性炭フィルター付きのホルダーを置きます。
- 活性炭フィルターは、必要に応じて早めに交換してください。
- 機器内で使う活性炭フィルター（ホルダー付き）を増やしてください。

活性炭フィルター用のホルダーは、棚の奥側にある保護ストリップ上に置くことができます。

- 活性炭フィルターを移動するには、ホルダーを上から引っ張り、保護ストリップから取り外します。



- 使用したい棚の保護ストリップにホルダーを再度取り付けます。

機器ガイド

付属アクセサリー

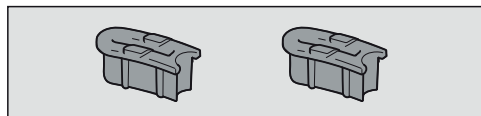
調整可能なボトルラック

エッグトレイ

防虫パネル（モデルにより異なる）

ボトルホルダー

ドア開閉角度リミッター（モデルによって異なります）



ドアヒンジは、工場出荷時にドアが115°まで開くように設定されています。機器のドアを開けたときに隣の壁に当たってしまう場合などには、開閉角度を約90°に制限できます。

別売アクセサリー

本機器のための便利なミーレアクセサリーとお手入れ製品を取り揃えています。

マイクロファイバークロス

マイクロファイバークロスは、化学薬品を使用せずに、ステンレス、ガラス、プラスチック、クロムなどの表面から指紋や軽い汚れを取り除くのに適しています。

KKF-FS 活性炭フィルターホルダー付き（Active AirClean）

活性炭フィルターは、冷蔵室内の不快感臭いを中和し、空気の質を高めます。

KKF-RF Active AirClean交換用フィルター

ホルダーに合わせた交換用フィルターもご用意しています。Active AirCleanフィルターは6か月ごとの交換を推奨します。

ボトルラック

詳細については、「機器ガイド」-「庫内の構成を調節する」を参照してください。

整理ボックス

整理ボックスにより、冷蔵室の引き出し内の食品を分かりやすく整理するのが簡単になります。

機種によっては、整理ボックスを出し入れするために、引き出し全体を取り外さなければならない場合があります。

別売アクセサリーは、ミーレオンラインショップでご注文いただけます。ミーレ・カスタマーサービス（連絡先情報については裏表紙参照）またはミーレ販売店でもご注文いただけます。

電源をオン/オフする

初めてお使いになる前に

- 梱包材と保護フィルムをすべて取り外します。
- 機器内部とアクセサリを清掃します（「清掃とお手入れ」参照）。

冷蔵機器を接続する

- 「電源接続」の説明に従って、冷蔵機器を電源に接続します。

Miele が機器のディスプレイに表示され、続いて⏻が表示されます。

冷蔵機器をオンにする

- 機器のドアを開けます。
- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。

冷蔵機器が冷え始め、機器のドアが開いているときは庫内照明が点灯します。

冷蔵機器が予め設定した温度に調整されます。

冷蔵機器内の温度を十分冷やすため、食品を入れる前に機器を数時間稼働させてください。設定温度に達するまで、食品を冷蔵機器に入れないでください。

冷蔵機器をオフにする

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。
- 🔌がディスプレイに表示されます。
- OKをタッチします。
 - <センサーコントロールを使って、⌚記号までスクロールします。
 - OKをタッチします。

⏻がディスプレイに表示されます。

冷却と庫内照明がオフになります。

注意：冷蔵機器をオフにしても、電源からは遮断されていません。

長期間オフする

長期不在時に冷蔵機器をオフにしても、清掃せずにドアを閉めたままにすると、内部にカビが発生するおそれがあります。

長期不在になる前に冷蔵機器を清掃することが大切です。

冷蔵機器を長期間使用しない場合は、以下を参照してください。

- 冷蔵機器をオフにします。
- コンセントからプラグを抜くか、ブレーカーを落とします。
- 冷蔵機器を清掃し、内部に臭いがたまらないよう、ドアを少し開けて冷蔵機器に空気が通るようにします。

適切な温度

食品の保存寿命を長持ちさせるためには、正しい温度を設定することが非常に重要です。温度を下げると微生物の増殖速度が低下します。食品が傷む速度が低下します。

次の場合、冷蔵機器内の温度が上昇します：

- 機器のドアを開ける頻度が高く、開かれた時間が長いほど上昇
- 保存されている食品が多いほど上昇
- 庫内に入れた食品の温度が高いほど上昇
- 周囲温度が高いほど上昇。本冷蔵機器は、一定の気候クラス（周囲温度）での使用を前提に設計されています。周囲温度の設計範囲外では使用しないでください。

.. 冷蔵室内は

冷蔵室内の温度は **4 ° C** を推奨します。

温度表示

通常の操作では、温度表示に 冷蔵機器内部の **現在の冷蔵室の平均温度** が表示されます。

周囲温度と温度設定によっては、機器が必要な温度に到達し、この温度がディスプレイに一定の温度として表示されるまでに数時間かかる場合があります。

温度を設定する

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。

🌡️がディスプレイに表示されます。

- OKをタッチします。
- <および>センサーコントロールを使用して温度を変更します。
- OKをタッチします。

温度表示が、冷蔵機器の現在の温度に戻ります。

温度設定範囲

- 冷蔵室：2～9 °C

温度設定を変更した場合：

- 数時間後に温度表示を確認してください。機器が正確な温度の読み取りを行うには、このぐらい長い時間がかかります。
- 冷蔵機器があまり一杯でない場合は、約6時間待ちます
- 冷蔵機器が満載の場合は、約24時間待ちます。

もしこの時間が経過した後も、まだ温度が高すぎたり低すぎたりする場合：

- 再度、温度を調整してください。

SuperCoolとDynaCoolを使う

SuperCool❄

スイッチを入れると、SuperCool機能❄で**冷蔵庫ゾーン**の温度を急速に下げて最低設定温度にすることができます(周囲温度による)。冷蔵機器はフル電力で稼働し、温度を下げます。大量の生鮮食品や飲み物を急速に冷やすには、この機能を選択します。

SuperCool機能❄をオンすると、機器から通常よりも多くの動作音が発生する場合があります。

SuperCool機能❄は、食品や飲み物を冷蔵庫に入れる直前にオンにしてください。

SuperCool機能❄は約12時間後に自動的にオフになります。その後、冷蔵機器は再び通常のパワーで稼働するようになります。

ヒント: エネルギー節約のため、食品や飲み物が十分に冷えたら手動でSuperCool機能❄をオフにすることができます。

SuperCool❄をオン/オフする

■ 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。

📺がディスプレイに表示されます。

■ OKをタッチします。

■ <センサーコントロールを使って、❄記号までスクロールします。

■ OKをタッチします。

SuperCool機能❄が**オン**になると、ディスプレイ[●]の上部に点が表示されます。

■ >センサーコントロールを使ってご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

SupercoolとDynaCoolを使う

DynaCool

DynaCool機能  がオンになっていない場合、冷たくて重い空気が機器の最下部に沈むため、機器内の自然な空気の循環により、冷蔵庫内に異なる温度ゾーンが発生します。機器に食品を入れるときは、このことにご注意ください(「冷蔵室に食品を保存する」参照)。

ただし、一週間分の買い物の後など、同じような食品を一度に大量に冷蔵庫に保存する場合は、DynaCoolをオンにすることをお勧めします。このようにして、機器内のすべての調節可能な棚の温度をより均等に分配できるため、冷蔵庫内内のすべての食品がほぼ同じ程度に冷やされます。温度は温度制御で通常通りに設定します。

また、次のような場合にもDynaCool機能  をオンにしてください。

- 周囲温度が高い(約35℃以上)
- 湿度が高い(夏など)

コンプレッサーがオンになると、ファンが必ず自動的にオンになります。

ヒント: DynaCool  をオンにすると消費電力が増えるため、通常の状態ではDynaCool  機能を再度オフにしてください。

エネルギーを節約するために、ドアが開いている間はファンは自動的にオフになります。

DynaCool をオン/オフする

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます。

- OKをタッチします。

- <センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

DynaCool機能 が**オン**になると、ディスプレイ[●]の上部に点が表示されます。

- >センサーコントロールを使ってご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

その他の設定を選択する

さまざまな設定の説明

以下では、さらに説明が必要な設定についてのみ説明します。

設定モード  にいる間は、ドアアラームやその他の警告は自動的に無効になります。

パーティーモード

パーティーモード機能  は、大量の生鮮食品や飲み物を急速に冷やす場合に特におすすめです。

ヒント: 機器に食品や飲み物を入れる約4 時間前に、パーティーモード機能  をオンにします。

パーティーモード  をオンすると、DynaCool  と SuperCool  の各機能が自動的にオンになります。

ホリデーモード  がオンになっている場合は、パーティーモード  をオンにすることはできません。

パーティーモード機能  は、約24 時間後に自動的にオフになります。ただし、パーティーモード機能  は、それより前にいつでも手動でオフにできます。

ホリデーモード

ホリデーモード機能  は、例えば、冷蔵ゾーンを完全にオフにしたくない場合や、高度な冷却を必要としない場合など、休暇を取るときに便利です。

ホリデーモード  をオンにすると、スタート画面が表示されます。

冷蔵ゾーンは15 ° Cに調節されています。冷蔵ゾーンはそのまま稼働し、省エネにもつながります。

すぐに傷まない食品は、冷蔵機器の控えめな温度でしばらくの間保存することができます。エネルギー消費は通常動作時よりも少なくなります。これにより、冷蔵室がオフになり、機器のドアが閉じられた場合に発生する可能性のある臭いやカビの蓄積を防ぐこともできます。

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

長期間、冷蔵ゾーンの温度が4 ° Cより高い状態が続くと、食品の品質が低下する場合があります。

ホリデーモード機能  は限られた期間に限ってオンにしてください。

この間、果物、野菜、魚、肉、乳製品など、温度に敏感な食品を保存しないでください。

その他の設定を選択する

ロック機能/をオンにする

ロック機能をオンにすると、冷蔵機器の電源が不用意に切られたり、お子様などによって意図せず設定変更されたりするのを防ぐことができます。

- 設定モードで、<または>センサーコントロールを使用して、記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

ロック機能がオンになると、ディスプレイの上部に点が表示されます。

- 機器のドアを閉じます。この時点で初めて、ロック機能が有効になります。

ロック機能/を一時的に無効にする

たとえば、温度を調整したい場合は、ロック機能を一時的に無効にすることができます。

- OKをタッチします。

がディスプレイに表示されます。

- OKセンサーコントロールを約6秒タッチします。

がディスプレイに表示されます。

- OKをタッチします。

- ここで、ご希望の設定を選択します。

- OKをタッチします。

機器のドアを閉じると、ロック機能が再び有効になります。

ロック機能/をオフにする

- OKをタッチします。

がディスプレイに表示されます。

- OKセンサーコントロールを約6秒タッチします。

がディスプレイに表示されます。

- <または>センサーコントロールを使って、記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

- <または>センサーコントロールを使って、記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

ロック機能をオフすると、ディスプレイにが表示されます。

その他の設定を選択する

サバトモード

本冷蔵機器は、宗教上の慣習に対応したサバトモードを備えています。

サバトモード  がオンになっている場合、スタート画面に表示されます。

3 秒後にディスプレイがオフになります。

サバトモード  がオンになっていると、本冷蔵機器に対して設定は何も行うことができません。

アラームの表示や音がオフとなるため、機器のドアが正しく閉まっていることを確認してください。

サバトモード機能  は約120 時間後に自動的にオフになります。

サバトモード  がオンになっている場合、以下は無効になります：

- ドアを開けたときの庫内照明
- すべての通知音と表示
- 温度表示

以前にオンにされた他の機能はすべて有効のままです。



腐敗した食品による健康リスクがあります。

サバトモード  が有効な間は、停電時のアラームも表示されないため、食品は一定期間高温にさらされる場合があります。これは食品の保存寿命を短くしてしまいます。サバトモード  中に停電が発生した場合は、食品の品質を確認してください。

サバトモード をオンにする

■ 設定モード  で、<または>センサーコントロールを使用して、 記号までスクロールします。

■ OKをタッチします。

サバトモード機能  がオンになると、ディスプレイ  の上部に点が表示されます。

ディスプレイは3 秒後にオフになります。

■ 機器のドアを閉じます。

サバトモード をオフにする

■ OKセンサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます。

■ OKをタッチします。

サバトモード機能  がオンになると、ディスプレイ  の上部に点が表示されます。

■ OKをタッチします。

サバトモード機能  がオフになると、ディスプレイの上部の点が消えます。

サバトモード に関する情報

本製品は、コーシャ認証の国際機関であるStar-Kによって認証されています。Star-K認証バージョンをここで確認できません。

その他の設定を選択する

ドアアラーム が作動するまでの時間を変更する

機器のドアが開いた後、ドアアラームが鳴るまでの時間を設定できます。

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。
- < > センサーコントロールを使って、ご希望の時間を30 秒から3 分の間に設定します。
- OKをタッチします。

Miele@home

本冷蔵機器には WiFi モジュールが装備されています。

ネットワークは工場出荷時は無効になっています。

この機能を使用するためには、以下が必要です。

- WiFiネットワーク
- Mieleアプリ
- ミーレのユーザーアカウント：ユーザーアカウントはMieleアプリ経由で作成できます。

WiFiネットワークに冷蔵機器を接続する際に、Mieleアプリがガイドします。

WiFi ネットワークに冷蔵機器が接続されると、例えば以下を行うためにアプリをご利用いただけます：

- 冷蔵機器の稼働状態の情報を呼び出す
- 冷蔵機器の設定を変更する

冷蔵機器を WiFi ネットワークに接続すると、機器の電源をオフにしても、消費電力が増えます。

本冷蔵機器を設置する場所で、WiFi ネットワークの信号強度が十分であることを確認してください。

その他の設定を選択する

WiFi 接続の利用について

WiFi 接続は他の電化製品（電子レンジや遠隔操作のおもちゃなど）と周波数帯域を共有しています。そのため、断続的または完全な接続障害が発生する可能性があり、搭載された機能が常に利用可能であるという保証はできかねますので、ご了承ください。

Mieleアプリ

Mieleアプリは、Apple App Store[®] または Google Play Store[™]から無料でダウンロードできます。



初めてMiele@homeをセットアップする

- 設定モード で、<> センサーコントロールを使って記号 @ までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <> センサーコントロールを使って、使いたい接続方法（アプリまたはWPS）を選択します。
- OKをタッチします。

ログインに成功すると、スタート画面に が表示されます。

接続を確立できなかった場合は、ディスプレイに が表示されます。

手順を再試行してください。

その他の設定を選択する

WiFi接続の有効/無効にする

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号 @ までスクロールします。

- OKをタッチします。

WiFiが無効になっている場合は、ディスプレイに  記号が表示されます。

- WiFi接続を再度有効にするには、OKをタッチします。

WiFiが有効になっている場合は、ディスプレイ  の上隅に  記号と点が表示されます。

WiFi接続が有効になると、スタート画面に  記号が表示されます。

ネットワーク設定をリセットする

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号 @ までスクロールします。

- OKをタッチします。

- > センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

- > センサーコントロールを使って、× 記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

Miele@homeに入力したすべての設定と値は、デフォルト設定にリセットされます。

WiFi接続が無効になり、スタート画面から  が消えます。

冷蔵機器を処分または転売する場合、または中古の冷蔵機器を稼働する場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。すべての個人データが冷蔵機器から削除されます。これにより、以前の所有者が冷蔵機器にアクセスすることもできなくなります。

アラーム音とブザーの音量を調整する /

アラーム音とブザーの音量を調整できます（ドアアラームやエラーメッセージが発生した場合など）。アラーム音やブザーをオフすることもできます。

- 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

- <> センサーコントロールを使って、アラーム音とブザーの音量をご希望に合わせて選択します。

- OKをタッチします。

アラーム音とブザーがオフになると、ディスプレイに  が表示されます。

その他の設定を選択する

ディスプレイの明るさ☀を調整する

部屋の照明状態に合わせてディスプレイの明るさを調整できます。

- 設定モード☞で、<>センサーコントロールを使って記号☀までスクロールします。
- OKをタッチします。
- <>センサーコントロールを使って、ご希望のディスプレイの明るさを選択します。
- OKをタッチします。

デモモードをオフする■

デモモード■では、冷却システムをオンすることなく、冷蔵機器をショールームでデモできます。この設定は、ご家庭での使用には必要ありません。

デモモードが初期設定としてオンになっている場合、冷蔵機器をオンすると、ディスプレイに■が表示されます。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
- 最初に Miele がディスプレイに表示され、続いてスタート画面が表示されます。
- OKをタッチします。
 - 設定モード☞で、<>センサーコントロールを使って記号■までスクロールします。
 - OKをタッチします。

デモモード■をオフすると、冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

設定を初期設定にリセットする☞

冷蔵機器の設定は、工場出荷時設定にリセットされます（設定については、「機器ガイド」参照）。

- 設定モード☞で、<>センサーコントロールを使って記号☞までスクロールします。
- OKをタッチします。
- > センサーコントロールを使って、☞記号までスクロールします。
- OKをタッチします。

冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

情報 i

機器データ（型式と製造番号）がディスプレイに表示されます。

次のような場合、この機器データをお手元にご用意ください。

- 冷蔵機器をWiFiネットワークに統合する（「その他の設定の選択：Miele@home」を参照）（モデルにより異なる）。
- 機器の異常をミーレ・カスタマーサービスに報告する（「サービス」を参照）。
- EPRELデータベースから情報を取得する（「サービス」を参照）。

活性炭フィルター交換表示☼

活性炭フィルター（別売アクセサリ）を挿入した後、設定モード☞で活性炭フィルター変更表示☼を有効にする必要があります。

スタート画面の活性炭フィルター交換表示☼は、約6か月ごとに活性炭フィルターを交換するように促します。（「清掃とお手入れ」-「活性炭フィルターを交換する」参照）。

清掃モード

清掃モード  を使用すると、冷蔵ゾーンの清掃が簡単になります（「清掃とお手入れ」参照）。冷蔵ゾーンはオフになりますが、庫内照明はオンのままです。ブザーが止まり、ディスプレイの記号も消えます。

清掃モード  がオンになっている場合、これはスタートディスプレイに表示されます。

清掃後、清掃モード  をオフにする必要があります。機器のドアが10分以上閉じられると、清掃モード  は自動的にオフになります。

ドアアラーム

本冷蔵機器にはドアアラームが搭載されており、ドアの開けっ放しによるエネルギー消費の増加および食品が温まるのを防ぎます。

機器のドアを長時間開けたままにすると、温度表示に $\square_{\Delta}$ が表示されます。アラーム音も鳴ります。

ドアアラームが作動するまでの時間を変更することができます。ただし、ドアアラームをオフにすることもできます(「その他の設定を選択する」参照)。

機器のドアが閉まると同時にアラームは停止し、ディスプレイに $\square_{\Delta}$ が表示されなくなります。

ドアアラーム音を早めにオフする

アラーム音が気になる場合は、早めにオフすることができます。

■ OKをタッチします。

アラーム音が止まり、 $\square_{\Delta}$ 記号が消えます。

機器のドアが閉じていない場合、アラーム音は3分後に再び鳴ります。

冷蔵庫に食品を保存する

⚠ 可燃性のガス混合物による爆発のおそれがあります。

電気部品が可燃性のガス混合物を発火させる場合があります。

冷蔵機器に、爆発物または高圧ガスを含む製品（スプレー缶など）を保存しないでください。該当するスプレー缶は、印刷された内容物表示や火のマークによって確認することができます。電気部品は、漏れたガスを発火させる場合があります。

⚠ 油脂を多く含む食品による損傷のおそれがあります。

油脂を多く含む食品を庫内やドアに保存する場合は、プラスチック部品に食品が接触しないように注意してください。応力亀裂やプラスチックの破損を引き起こす場合があります。

冷蔵機器のプラスチック部分に脂肪や油が漏れないよう注意してください。

空気の循環が不十分だと、冷却性能が低下し、エネルギーの消費量が増加します。空気が効率的に循環するよう、食品を詰めすぎないでください。

機器背面のファンを覆わないでください。

各種保存ゾーン

自然な空気な対流によって、冷蔵庫内には温度の違うゾーンがあります。

冷たく重い空気は、冷蔵庫内の最下部に沈みます。食品を機器に入れる際は、異なるゾーンを活用してください。

本冷蔵機器にはダイナミッククーリング機能が搭載されており、ファンが稼働しているとき均一な温度の維持を助けます。したがって、各ゾーン間の温度差はそれほど顕著ではありません。

最も温かいエリア

冷蔵庫内で最も温かいエリアは、手前側およびドア内、それぞれの最上部です。ここはバターやチーズの保存に使用してください。

冷蔵庫に食品を保存する

最も冷たいエリア

冷蔵庫ゾーンの最も冷たいエリアは、DailyFresh引き出しの真上と、機器の奥側です。

4 ° Cの温度設定と適切な衛生管理により、サルモネラ菌やリステリア菌など、深刻な食中毒につながる細菌の繁殖を遅らせます。

そのため、これらのエリアを使用して、次のようなデリケートで傷みやすい食品を保存してください。

- 魚、肉、鳥肉
- ハム類、調理済み食品
- 卵や生クリームを含む料理や焼き菓子
- 調理前の生地、ケーキミックス、ピザやキッシュの生地
- 生乳チーズ、その他の生乳製品
- パック野菜
- その他の生鮮食品(約4 ° Cの温度で保存することが記載されているもの)

ヒント: 食品は、冷蔵庫ゾーンの後壁に触れないようにしてください。食品が後壁に凍り着く可能性があります。

冷蔵庫内での保存に適さない食品

低温に敏感な食品もあり、すべての食品が5 ° C以下での保存に適しているわけではありません。食品によっては、保存温度が低すぎると、外観、均一性、風味やビタミン含有量が変わる場合があります。

低温に敏感な食品の例：

- パイナップル、アボカド、バナナ、ザクロ、マンゴー、メロン、パパイア、パッションフルーツ、およびレモン、オレンジ、みかん、グレープフルーツといった柑橘系の果物
- 果物（まだ熟していないもの）
- なす、きゅうり、じゃがいも、ピーマン、トマト、ズッキーニ
- ハードチーズ（パルメザン、マウンテンチーズなど）

食品ご購入時の注意点

機器に入れた時点での食品の鮮度は、鮮度が保たれる期間を決める最も重要な要素です。賞味期限と適切な保存温度を考慮に入れてください。

例えば高温の車内での食品の運搬など、冷蔵庫の外にある時間は最小限にしてください。

食品の正しい保存法

冷蔵庫内に保存されている食品は適切にパックまたはラップするようにしてください
(DailyFresh引き出しでは一部例外が適用されます)。

これにより、食品の臭いが他の食品に移ったり、乾燥したりするのを防ぎ、また最近の相互汚染を防止することができます。これは、肉類の保存時に特に重要です。特に生肉や生魚が他の食品と接触しないように注意してください。

温度設定が正しいことを確認し、適切な衛生対策を講じることで、食品の保存寿命を大幅に延ばすことができます。これにより、食品の廃棄を回避できます。

たんぱく質が豊富な食品

たんぱく質が豊富な食品は、他の食品よりも早く傷むことに注意してください。例えば、貝は魚よりも早く傷み、魚は肉よりも早く傷みます。

DailyFresh引き出しに食品を保存する

DailyFresh引き出しは、果物や野菜に最適な保存状態を提供します。

DailyFresh引き出しの湿度は、保管する食品に合わせて調整することもできます。食品は、より高い湿度で保存された場合、食品自体の水分を保持するため、すぐに乾きません。温度は冷蔵ゾーンの温度とほぼ同じです。

食品が機器に入れた時点で新鮮であるほど、新鮮な状態が長続きます。

果物と野菜用の DailyFresh 引き出しの湿度レベルを調整する

ラップをかけずに保存した場合、水分量は保存する食品の種類や量に大きく左右されます。このコンテナに保存される食品の量が少ない場合、湿度が低すぎる可能性があります。

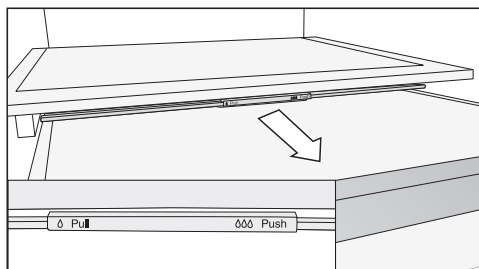
ヒント: 食品を少量しか保存しない場合は、密閉包装をしてください。

低い湿度を選択する

本機器は、湿度を上げ、コンテナカバーを後方に押し込んだ状態で出荷されています。

DailyFresh引き出しに過度の湿気がある場合のみ、この位置を変更してください。

- DailyFreshの引き出しを開けます。

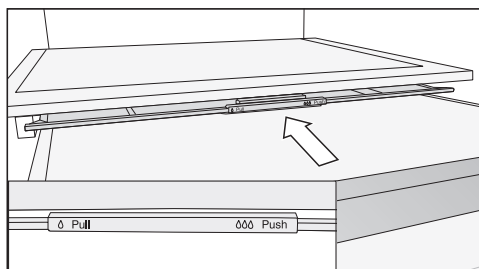


- コンテナカバーを前方にできるだけ引き出します。

コンテナカバーが開いていて、湿度が下がっています。

高い湿度を選択する

- DailyFreshの引き出しを開けます。



- コンテナカバーを奥までスライドさせます。

コンテナカバーが閉まり、コンテナ内に湿気が残ります。

DailyFresh引き出しに食品を保存する

食品がうまく保存されない（例えば、短時間保存しただけで食品が傷む）場合には、次のヒントをお試しく下さい：

- 機器に入れるのは新鮮な食品のみにしてください。食品の最初の状態は、鮮度を維持するために重要です。
- 食品を保存する前に、DailyFresh 引き出しを清掃します。
- 非常に濡れた食品は、保存する前に水を切っておきます。
- 低温に敏感な食品は DailyFresh 引き出しで保存しないでください（「冷蔵ゾーンで食品を保存する」 - 「冷蔵ゾーンでの保存に適さない食品」参照）。
- コンテナカバーを正しい位置にセットします（湿度アップしない δ 、または湿度アップ $\delta\delta\delta$ ）。
- 湿度制御コンテナ内の湿度アップのレベル $\delta\delta\delta$ は、ラップせずに保存されている食品の水分によって実現します。コンテナに保管されている食品が多いほど、湿度が高くなります。
- $\delta\delta\delta$ 設定時にコンテナに水分が溜まりすぎて食品が影響を受ける場合は、コンテナの底を乾かし、ラックなどをコンテナに置いて、余分な水分が下に落ちるようにします。または、コンテナカバーを手前に引いて湿度 δ を下げます。
- $\delta\delta\delta$ 設定でも湿度が低すぎる場合は、食品を密閉包装します。

霜取り

冷蔵ゾーンとDailyFresh引き出し

冷蔵ゾーンとDailyFresh引き出しは自動で霜取りされます。

コンプレッサーの作動中に、冷蔵ゾーンとDailyFresh引き出しの後壁に結露と霜がつくことがあります。これを取り除く必要はありません。

結露は、溝と排水穴を通して、冷蔵機器の背面にある蒸発システムに排水されます。排水された結露は、コンプレッサーから発生する熱で自動的に蒸発します。

溝と排水口は清潔に保ってください。結露は、常に妨げられることなく排水できる必要があります。

冷蔵機器の庫内にある型式表示シールは絶対に取り外さないでください。これには、異常が発生した場合に必要な情報が含まれていません。

電子ユニットや照明に水が入らないようにしてください。



蒸気の侵入による破損のおそれがあります。

スチームクリーナーからの蒸気は、プラスチックや電気部品に損傷を与える場合があります。

冷蔵機器の清掃にスチームクリーナーを使用しないでください。

排水口に洗浄水が入らないようにしてください。

洗剤

冷蔵機器の庫内に使用する洗剤やコンディショニング剤は、食品に使っても安全でなければなりません。

機器表面の損傷を防ぐために、以下のものは**使用しないでください**。

- ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗浄剤
- カルキ除去剤を含む洗浄剤
- 研磨剤入り洗浄剤（例：研磨粉、研磨液、軽石など）
- 溶剤を含む洗浄剤
- ステンレス用の洗剤
- 食器洗い機用洗浄剤
- オープン用スプレー
- セラミックコンロ用洗浄剤（ガラス面の清掃を除く）
- ガラス用洗浄剤（ただし、ガラスフロントを洗浄する場合は、少量のアルコールを含み、クエン酸などの添加物を含まないガラス用洗浄剤を使用することができます）
- 硬い研磨剤入りのスポンジやブラシ（鍋磨き用たわしなど）
- メラミンスポンジ
- 尖った金属ヘラ

機器表面の清掃には、少量の洗浄液を入れたぬるま湯と洗浄用スポンジお勧めします。

清掃とお手入れ

清掃のために冷蔵機器を準備する

ヒント: 清掃モードをオンにします。冷蔵ゾーンの冷却システムはオフになりますが、庫内照明はオンのままです。

- 設定モードで、<または>センサーコントロールを使用して、記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

清掃モードがオンになると、ディスプレイの上部に点が表示されます。

清掃モードをオンにすると、スタート画面が表示されます。

冷蔵ゾーンの冷却システムはオフになりますが、庫内照明はオンのままです。

- 冷蔵機器から食品を取り出し、涼しい場所に保存します。
- 清掃のために取り外せるアクセサリーは取り外してください（「アクセサリーの取り外し、分解、清掃する」参照）。

機器庫内を清掃する

冷蔵機器は定期的に、少なくとも月に1回は清掃する必要があります。

汚れを放置しておくと、状況によって落とせなくなる場合があります。

表面が変色または損傷する場合があります。

このため、汚れたらすぐに拭き取ります。

- **庫内**は、きれいなスポンジ、ぬるま湯、少量の食器用台所洗剤で清掃します。
- 清掃後に、清潔な水で湿らせた布で拭き、柔らかい布で拭いて乾かします。
- 結露の水が妨げられることなく流れる用、溝と排水口は綿棒などを使って頻繁に清掃してください。
- 空気を通し、臭いがたまらないようにするため、しばらくドアを開いておきます。

アクセサリーを手洗いまたは食器洗い機で洗淨する

以下の部品は必ず **手洗い** してください：

- ステンレストリム
- 調節可能な棚の奥側にある保護ストリップ
- 印刷が施されている調節可能な棚
- すべての引き出し、およびコンテナのフタ（機種による）
- 防虫パネル（モデルにより含まれる）
- フレキシブルボトルラック（別売アクセサリー）
- 整理ボックス（別売アクセサリー）

以下の部品は **食器洗い機対応** です：

 食器洗い機での高温洗淨による損傷のおそれがあります。

食器洗い機で55 ° Cを超える温度で洗淨すると、変形するなどして冷蔵機器の部品が使用できなくなる場合があります。

食器洗い機対応の部品については、最大55 ° Cまでのプログラムのみを使用してください。

ニンジン、トマト、ケチャップなどに含まれる天然色素との接触は、食器洗い機のプラスチック部品を変色させる場合があります。この変色は部品の安定性には影響しません。

- ボトルホルダー、エッグトレイ
- 機器ドアのドア棚とボトル棚（ステンレストリムなし）
- 分割棚用アダプター
- 調節可能な棚（トリムなしの状態、または印刷なしのもの）
- 活性炭フィルター用のホルダー（別売アクセサリー）

アクセサリーを取り外し、分解、清掃する

ドア棚/ボトル棚を分解する

食器洗い機でドア棚/ボトル棚を洗淨する前に、ステンレストリムを取り外します。

ステンレストリムの取り外しは、以下の手順で行います：

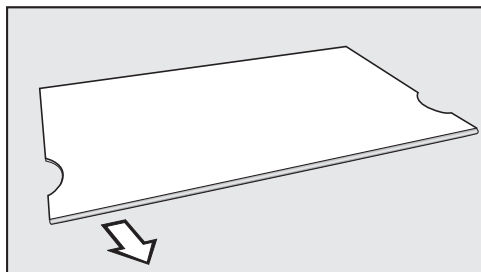
- ドア棚/ボトル棚を作業台に置きます。
- トリムを片側ずつ引いて棚から取り外します。
- ドア棚/ボトル棚を清掃した後、トリムを再度取り付けます。

清掃とお手入れ

調節可能な棚を分解する

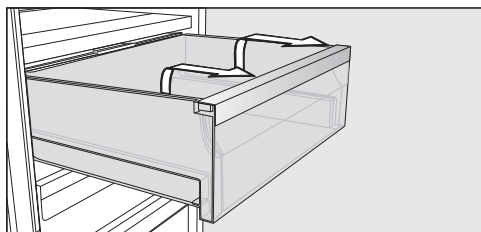
調節可能な棚を清掃する前に、トリムを取り外します。以下の手順に従ってください：

- 柔らかい素材（布巾など）を作業台に被せ、その上に棚を置きます。



- トリムを片側ずつ引いて棚から取り外します。
- 棚を清掃した後、トリムを再度取り付けます。

冷蔵ゾーンから引き出しを取り外す



- 引き出しを最後まで引き出します。
- 引き出し奥側の側面を持ち、持ち上げてから手前に出します。

損傷を防ぐため引出式レールを押します。

⚠ 誤った清掃によって損傷するおそれがあります。

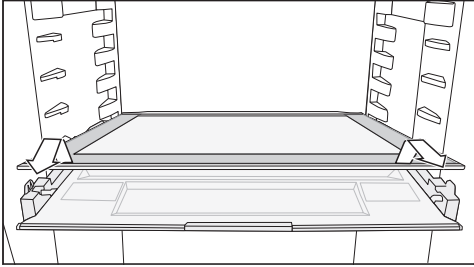
引出式レールには特殊な潤滑剤が含まれており、清掃中に洗い流されてレールに損傷を与えるおそれがあります。

引出式レールを清掃するには湿らせた布で拭きます。

引き出しを戻す

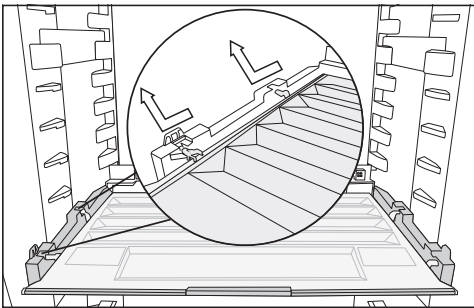
- 引き出しは、完全に引っ込んだ状態の引出式レールに載せます。
- 引き出しをカチッとハマるまで押し込みます。

仕切り板の取り外し



- 仕切り板を取り外します。
- 清掃後、仕切り板をスライドさせて元に戻します。

コンテナカバーを取り外す

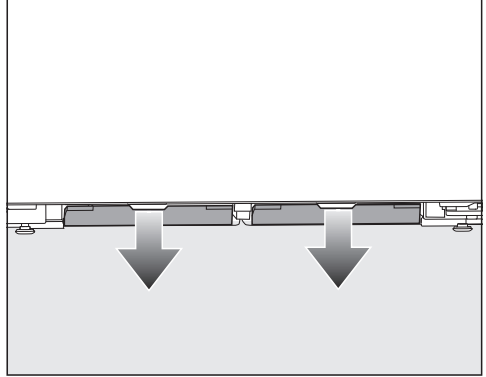


- カバーを手前側で持ち上げて引き出します。
- 清掃後、コンテナカバーをスライドさせて元に戻します。

防虫パネルの取り外しと清掃

ほこりがたまると、本機器の消費電力が増加します。

防虫パネル前面は掃除機で定期的に清掃してください（ミーレ掃除機のココリ取り用ブラシなどを使用してください）。



- 防虫パネル中央のキャッチを、外れるまで押し下げます。
- 防虫パネルを前に引いて取り外します。
- 二枚目の防虫パネルも取り外します。
- こびりついた汚れは湿らせた布で取り除きます。
- 防虫パネル2枚を元のように取り付けます（「設置 - 同梱の防虫パネルの取り付け」を参照）。

清掃とお手入れ

活性炭フィルター（別売アクセサリー）の交換

ホルダー内の活性炭フィルターは6 か月ごとに交換してください。

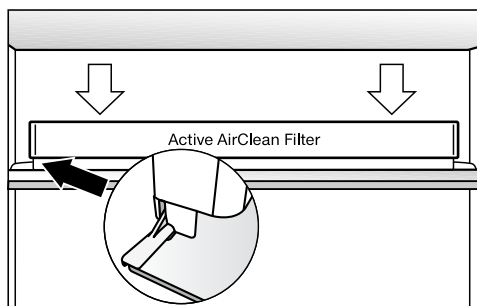
スタート画面の🌀記号が、活性炭フィルターの交換を知らせてくれます。

交換用のKKF-RF 活性炭フィルターは、ミーレ・カスタマーサービス、ミーレ販売店、またはミーレオンラインショップからご購入いただけます。

- 活性炭フィルターホルダーを上引っ張って、調節可能な棚から取り外します。

活性炭フィルターは、湿気によって冷蔵機器に付着する場合がありますため、冷蔵機器の後壁に触れないように取り付けてください。

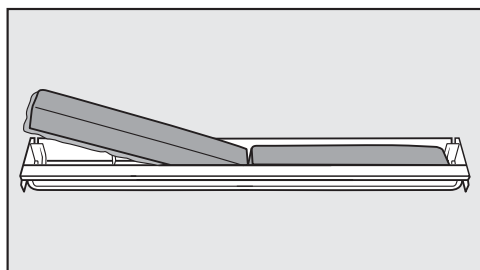
新しい活性炭フィルターを、ホルダーの端からはみ出さないようホルダーの奥深くに挿入します。



- ホルダーを調節可能な棚の背面の保護ストリップの中央に配置し、カチッと音がしたことを確認してください。
- OKセンサーコントロールをタッチして、フィルターが交換されたことを確認してください。

「活性炭フィルター交換」のリマインダーがディスプレイから消え、カウンターがリセットされます。

🌀記号がスタート画面から消えます。



- 両方の活性炭フィルターを取り外し、新しいフィルターをエッジ付きの面を下にしてをホルダーに取り付けます。

機器前面とサイドパネルを清掃する

汚れを放置しておくと、落とせなくなる場合があります。表面が変色または損傷する場合があります。

したがって、機器の前面とサイドパネルの汚れはすぐに取り除くようにしてください。

表面は傷つきやすくなっています。不適切な洗剤を使うことにより表面が変質、変色するおそれがあります。

本章の冒頭にある「洗剤」に関する情報を参照してください。

- きれいなスポンジとお湯に溶かした食器用台所洗剤で表面を清掃します。きれいなマイクロファイバークロスを湿らせて、洗剤なしで使うこともできます。
- 清掃後に、清潔な水で湿らせた布で拭き、柔らかい布で拭いて乾かします。

CleanSteel(edt/cs)—機器前面

 不適切な清掃によって、機器が破損するリスクがあります。

表面のコーティングが破損します。

機器の表面に**ステンレスクリーナーは使用しないでください**。

機器の前面には、高品質の特別な仕上げが施されています。この仕上げは汚れに強く、清掃も非常に簡単です。

ドアパッキンを清掃する

 不適切な清掃によって損傷するおそれがあります。

ドアパッキンにオイルやグリスを施すと、気密性が低下する可能性があります。

ドアパッキンにオイルやグリスを使用しないでください。

- ドアパッキンは定期的にきれいな水で拭いてから、柔らかい布で拭いて乾かします。

換気間隙を清掃する

ほこりがたまると、本機器のエネルギー消費量が増加します。

- 換気間隙は、ブラシまたは掃除機で定期的に掃除する必要があります（たとえば、ミレー掃除機の本コリ取り用ブラシを使用できます）。

清掃とお手入れ

清掃をした後は

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。

☑がディスプレイに表示されます。

- OKをタッチします。

清掃モード☑がオフになると、ディスプレイ上部の点が消えます。

- <および>センサーコントロールを使用して、☑記号までスクロールし、OKをタッチします。

冷蔵機器が再び冷却を開始します。

- すべての棚とアクセサリーを冷蔵機器内に戻します。
- しばらくの間SuperCool機能❄をオンにし、冷蔵機器内の温度が急速に低下するようにします。
- 冷蔵機器が所定の温度まで下がったら、食品を入れます。
- 機器のドアを閉じます。

こんなとき、どうしたらいい？

日常の使用で発生する本体の性能に関する小さな不具合などは、間違った操作が原因の場合もあります。

以下のトラブルシューティングガイドにより、故障の原因を見つけ、直すことが出来る場合があります。ただし、次の注意点には十分ご注意ください。修理およびその他の作業を非専門技術者が行った場合、使用中に大きな危険を引き起こす可能性があります。電気機器の修理は、必ず地域および国の安全基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければいけません。

不必要に冷気が失われるのを防ぐため、本機器の修理を待つ間はドアを開けないことをお勧めします。

問題	原因および対策
冷蔵機器が冷えず、機器のドアを開けても庫内照明が点灯しない。	冷蔵機器がオンになっておらず、ディスプレイに  記号が点灯しています。 ■ 冷蔵機器をオンにします。
	プラグがコンセントに正しく挿し込まれていません。 ■ 電源プラグをコンセントに挿し込みます。冷蔵機器がオフになっている場合は、ディスプレイに  が表示されます。
	ブレーカーが落ちているかヒューズが切れています。冷蔵機器、家庭内電気配線、他の電気機器に障害がある可能性があります。 ■ 資格のある電気技師またはミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。
コンプレッサーが継続的に稼働している。	異常ではありません。エネルギーを節約するため、必要な冷却が少ない場合にコンプレッサーは低速で長時間稼働します。
コンプレッサーがより頻繁に、より長期間稼働する。冷蔵機器内の温度が低すぎる。	換気間隙が覆われているか、ほこりが多すぎます。 ■ 換気間隙を塞がないでください。 ■ 換気間隙を定期的に清掃してください。
	機器のドアが頻繁に開けられた。機器に大量の生鮮食品が入れられました。 ■ 機器のドアは必要なときにだけ開け、できるだけ短時間にしてください。 しばらくすると、自然に正常な温度に戻ります。
	機器のドアが正しく閉まっていません。 ■ 機器のドアを閉じます。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
	しばらくすると、自然に正常な温度に戻ります。
	周囲温度が高すぎます。周囲温度が高いほど、コンプレッサーの稼働時間が長くなります。 ■ 「設置」 - 「場所」を参照してください。
	冷蔵機器が正しく開口に設置されていません。 ■ 設置手順書に従って、冷蔵機器を開口に設置してください。
	冷蔵機器内の設定温度が低すぎます。 ■ 温度設定を修正してください。
	SuperCool機能  がオンのままです。 ■ エネルギーを節約するには、早めにSuperCool機能  をオフします。
コンプレッサーの稼働頻度が次第に減り、稼働時間も短くなっている。	異常ではありません。温度が高すぎます。 ■ 温度を調節してください。 ■ 24 時間後にもう一度温度を確認してください。
冷蔵機器内部に氷または結露が蓄積している。機器のドアが正しく閉まらないことがある。	ドアパッキンが溝から外れています。 ■ ドアパッキンが溝に正しく取り付けられているか確認してください。
	ドアパッキンが破損しています。 ■ ドアパッキンが破損していないか確認してください。
ドアパッキンが破損している、または交換する必要がある。	ドアパッキンの交換に必要な工具はありません。 ■ ドアパッキンを交換してください。交換用の部品は、ミーレまたは専門のミーレ取扱店でご注文いただけます。

こんなとき、どうしたらいい？

その他の問題

問題	原因および対策
冷蔵室内の底面が濡れている。	排水口が詰まっています。 ■ 結露の溝と排水口を清掃します。
ドアが長い間開いていても、アラーム音が鳴らない。	異常ではありません。設定モードでアラーム音がオフにされています。通知音をオンに戻したい場合は： ■ 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。 ■ OKをタッチします。 ■ < > センサーコントロールを使って、アラーム音とブザーの音量をご希望に合わせて選択します。 ■ OKをタッチします。 アラーム音とブザーがオンになると、ディスプレイに  が表示されます。

こんなとき、どうしたらいい？

警告表示

メッセージ	原因および対策
■ がディスプレイに点灯し、操作部と庫内照明は機能しているのに冷蔵機器が冷えない。	デモモードが有効になっています。 ■ OKをタッチします。 最初に Miele がディスプレイに表示され、続いてスタート画面が表示されます。 ■ OKをタッチします。 ■ 設定モード  で、<> センサーコントロールを使って記号 ■ までスクロールします。 ■ OKをタッチします。 デモモード ■ をオフすると、冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。
 がディスプレイに点灯し、冷蔵機器が使用できない。	洗浄モード機能がオンのままです。 ■ 操作パネルの OK センサーコントローラをタッチして、洗浄モードをオフにします。  がディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。 洗浄モード  をオフにすると、ディスプレイ上部の点が消えます。 ■ <> センサーコントローラを使って、↶ 記号までスクロールし、OKをタッチします。 冷蔵機器が再び冷却を開始します。
ディスプレイに何も表示されない。ディスプレイが真っ黒である。	サバトモード  がオンになっています：庫内照明がオフになり、冷蔵機器が冷却されています。 ■ OKをタッチします。  とディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。 サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。 ■ OKをタッチします。 サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
 がディスプレイに点灯し、機器を使用できない。	ロック機能が有効になっています。 ■ 冷蔵機器のロックを一時的に無効にするか、完全にオフにします（「その他の設定を選択する」-「ロック機能 /を一時的に無効にする/完全にオフする」参照）。
 記号がスタート画面で点灯し、ブザー音が鳴る。	スタート画面の  活性炭フィルター交換表示は、フィルターを交換する必要があることをお知らせします。 ■ ホルダー内の活性炭フィルターを交換し（「清掃とお手入れ」-「活性炭フィルター（別売アクセサリ）を交換する」参照）、OKセンサーコントロールにタッチして、活性炭フィルターが交換されたことを確定してください。  記号がスタート画面から消えます。
ディスプレイに△が点灯し、アラームも鳴る。	ドアアラームが作動しました。 ■ OKをタッチします。 アラーム音が止まり、△記号が表示されなくなります。 ■ 機器のドアを閉じます。
 がディスプレイで点灯し、エラーメッセージFと番号が表示される場合があります。アラーム音も鳴ります。	異常があります。 ■ OK をタップしてアラーム音をオフにします。 ■ ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。 異常を報告するには、エラーメッセージと、お使いの冷蔵機器の型式と製造番号が必要です。これらの情報  はディスプレイからアクセスできます。 ■ OK をタップします。 必要な機器データがディスプレイに表示されます。 ■ OK をタップします。 ■ 冷蔵機器をオフするには、< もしくは > センサーコントロールを使用して、記号  までスクロールします。 ■ 情報表示を終了するには、< もしくは > センサーコントロールを使用して、記号  までスクロールします。 ■ OK をタップします。 機器に異常があります：この表示は、選択したばかりのいかなる設定よりも優先されます。 機器の異常は、現在表示されているドアアラームや温度アラームよりも優先されます。

こんなとき、どうしたらいい？

庫内照明



露出した通電中の電気部品による感電のおそれがあります。

照明カバーを取り外すと、通電中の電気部品に接触するおそれがあります。

照明カバーは取り外さないでください。LED照明の修理や交換は、ミーレのサービスのみが行えます。



LED照明によるけがのおそれがあります。

カバーに異常があると、眼をけがするおそれがあります。

照明カバーに異常がある場合は、近距離から光学機器（虫眼鏡など）を使用して照明を直接見ないでください。

問題	原因および対策
庫内照明が点灯しない。	冷蔵機器がオンになっていません。 ■ 冷蔵機器をオンにします。
	サバトモード  がオンになっています。ディスプレイが暗く、冷蔵機器は冷却されています。 ■ OKをタッチします。  とディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。
	サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。 ■ OKをタッチします。
	サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。
	オーバーヒートを防ぐため、機器のドアを開けたままにすると、約15分後に照明が自動的にオフになります。これに該当しない場合は、異常があります。 ■ ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

冷蔵機器から運転中さまざまな音を発生させます。
 冷蔵性能が下がっていると、冷蔵機器はエネルギーを節約しますが、より長時間運転します。
 音量は低くなります。
 冷却性能が高いとき食品はより速く冷却されます。
 音量は高くなります。

通常の 運転音	その原因は？
「ブーン」	うなるような音はモーター（コンプレッサー）からします。この音は、コンプレッサーがオンになるときに短時間、大きくなることがあります。
「ボコボコ」	うがいのような音は、冷媒がパイプ内を循環しているときに聞こえます。
「カチッ」	サーモスタットがコンプレッサーをオン/オフするときにカチッという音がします。
「バキッ」	機器内部の素材が膨張するときに聞こえることがあります。
ある程度の音は避けられないことにご注意ください（コンプレッサーや冷却回路内を循環する冷媒からの音）。	

音	原因と改善方法
ガタガタする、 振動する	冷蔵機器が水平に設置されていません。水準器を使用して、冷蔵機器の下にある調整脚を上下に調節してください。
	冷蔵機器が別の機器やキャビネットに触れています。移動してください。
	引き出しやバスケット、棚が揺れている、または挟まっています。取り外し可能なアイテムをすべて確認し、正しく取り付け直してください。
	ボトルや容器が接触しています。離してください。

アフターサービス

故障の際の連絡先

お客様ご自身では対応できない故障の場合は、ミーレ販売店またはミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。

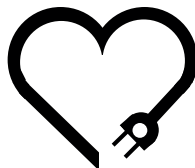
ミーレ・カスタマーサービスへの修理のお申し込みについては www.miele.co.jp/service をご覧ください。

ミーレ・カスタマーサービスの連絡先は本冊子の最終ページにあります。

ミーレ・カスタマーサービスにご連絡いただく際には、お使いの機器の型番と製造番号(SN)をご用意ください。どちらの番号も、冷蔵機器内部の型式表示シール、またはモデルによっては、設定モードの情報 **i** にあります。

通信モジュールの操作と制御のために、ミーレはオープンソースライセンス条項の対象外のプロプライエタリソフトウェア、またはサードパーティソフトウェアを使用しています。本ソフトウェアおよびソフトウェアコンポーネントは著作権により保護されています。ミーレおよびサードパーティの著作権は法の下に保護されています。

さらに、機器に搭載されている通信モジュールには、オープンソースライセンスに基づき配布されるソフトウェアコンポーネントが含まれています。機器に含まれるオープンソースコンポーネント、著作権についての通知、その時点で有効なライセンス条項のコピー、およびその他の情報は、IPを介して端末のウェブブラウザ上で閲覧できます([http\[s\]://<IPアドレス>/Licenses](http[s]://<IPアドレス>/Licenses))。ここに表示されたオープンソースライセンスの賠償責任および保証規約は、それぞれの権利所有者にのみ適用されます。



愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫機器の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れてもときどき運転しない時がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- こげくさい臭いがする
- 機器に触るとピリピリと電気を感じることもある。
- その他の異常や故障がある。



●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

カスタマーサービス 0120-310-647（フリーダイヤル）

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12 オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

KS 4783 ED

ja-JP

M.-Nr. 12 137 540 / 00